

世界ロボット大会での契約額が100億元に

8月20日から25日にかけて、北京市人民政府、工業・情報化部、中国科学技術協会の共同主催のもと、中国電子学会、北京市経済・情報化局、北京経済技術開発区管理委員会が実施した「2019年世界ロボット大会」が、北京亦創国際エキシビションセンターで開催された。



同大会では、世界工学団体連盟ロボット・自動化学会など22の国際機関の支援を受け、中国内外から300人を超えるトップレベルの専門家と企業トップが講演を行い、先端の科学技術成果が発表された。また、大会には20を超える国・地域の企業約180社が700点を超える製品を出展した。この中には各種ロボットや先端部品が含まれ、ABB、安川電機、瀋陽新松、UBTECHといった世界のロボット界を代表するリーディングカンパニーがそろって出展した。大会は、4部門に分かれてコンテストが30数回行われ、ブレイン・コンピュータ・インターフェース（BCI）技術を利用した脳波で制御するロボット、共存・共同・認知型ロボット（Trico ロボット）、ロボット工業デザイン、青少年ロボットデザインなどの内容を競った。



8月26日時点のデータによると、大会には30万人近くの来場者があり、関心の高さが伺われた。4部門に分かれて行われたロボットコンテストには20数ヵ国・地域から1000以上のチームが参加した。会期中に企業が締結したプロジェクト契約額は100億元（約1472億円）に迫ったという。

工業・情報化部の王志軍副部長は閉幕式でのあいさつで、「世界ロボット大会は世界のロボット分野における最も名声の高い総合的イベントだといえる」と述べた。

（曹 雪飛）

【中国】【科技経費】国家財政からの科学技術支出が13.5%増

中国政府は2019年8月30日、2018年に研究開発に投入された経費が1兆9677億9000万元（約29兆5200億円）に達し、前年から11.8%増加したことを明らかにした。GDP（国内総生産）の約2.19%に相当する。研究開発人員1人あたりの活動費は前年より1万3000元増え44万9000元（約674万円）となった。¹

活動別に見ると、基礎研究が1090億4000万元で前年比11.8%増。応用研究は2190億9000万元で前年比18.5%増。試験開発は1兆6396億7000万元で前年比10.9%増。活動別の経費の割合では、試験開発83.3%、応用研究11.1%、基礎研究5.5%となった。

活動主体別では、各種企業の経費支出が最も多く1兆5233億7000万元で対前年比では11.5%増、政府所属の研究機関2691億7000万元（対前年比10.5%増）、大学1457億9000万元（同15.2%増）となり、全体の77.4%を企業が占めた。

2018年の国家財政からの科学技術支出は9518億2000万元となり前年から1134億6000万元、率にすると13.5%増えた。国家財政からの科学技術支出は政府支出全体の4.31%を占め、前年から0.18ポイント上昇した。このうち中央政府による科学技術支出は3738億5000万元で前年比9.3%増。地方政府の科学技術支出は5779億7000万元となり、前年から16.5%増加した。

【中国】【太陽光発電】中国の太陽光発電設備が1億8600万kWに

中国国家能源局は2019年8月23日、中国全体の太陽光発電設備容量が6月末時点で1億8559万kWに達したことを明らかにした。前年同期比では20%の増加。1月～6月の新設分は1140万kW。発電所のタイプ別に見ると、集中式が1億3058万kWで前年同期比16%増。6月までの新設容量は682万kW。また分散式は前年同期比で31%増となり5502万kWに達した。6月までの新設容量は458万kW。²

今年上半期（1月～6月）の太陽光発電量は1067.3億kWhに達し前年同期比では30%増となった。「棄光」³電量は26.1億kWhで前年同期と比べて5.7億kWh減少した。「棄光」率は2.4%となり前年同期比で1.2ポイント低下した。「棄光」が目立った地域は、チベットや新疆、甘粛、青海などで、このうちチベットの「棄光」電量は2.1億kWhとなり前年同期と比べると1.7億kWh減少した。「棄光」率も前年同期比で26.6ポイント低下したものの、25.7%という高い水準にある。

太陽光発電所の新設の状況を見ると、西北地区が最も多く342.8万kWとなり新設分全体

¹ 「2018年全国科技经费投入统计公报」(http://www.gov.cn/xinwen/2019-08/30/content_5425835.htm)

² 「2019年上半年光伏发电建设运行情况」(http://www.nea.gov.cn/2019-08/23/c_138330885.htm)

³ 棄光：送電網の容量不足や系統連系の問題などの要因によって発電所の稼働が制限されてしまうこと。「棄光」（太陽光発電）、「棄風」（風力発電）、「棄水」（水力発電）、「棄核」（原子力発電）がある。

の 30.1%を占めた。以下、華北地区 329.5 万 kW（新設分全体に占める割合 28.9%）、華東地区 228.4 万 kW（同 20%）、華中地区 135.9 万 kW（同 11.9%）、華南地区 76.8 万 kW（同 6.7%）、東北地区 26 万 kW（同 2.3%）などとなっている。

【中国】【風力発電】補助金非適用風力発電所が甘肅省で運転開始

中国核工業集团有限公司（中核集団）は 2019 年 8 月 27 日、傘下の中核匯能有限公司が甘肅省で進めている補助金が適用されない風力発電実証プロジェクトの最後の 1 基が同 24 日に送電を開始したことを明らかにした。中核集団初の補助金非適用プロジェクトである玉門黒崖子発電所（=写真）は上海電気製の 2MW ユニット 25 基で構成された合計設備容量 50MW の発電所で、後続のプロジェクトの実証プロジェクトと位置づけられており、国家能源局からも補助金非適用の実証プロジェクトとして認められた。⁴



出典：中国核工業集团有限公司

【中国】【天然ガス】「西気東輸」の天然ガス輸送量が 4920 億立方メートルに

中国石油西気東輸管道公司是 2019 年 8 月 23 日、中国西部の天然ガスを中国東部沿岸地域に輸送する「西気東輸」プロジェクトの 2004 年 12 月 30 日の全線商業運転開始以来の天然ガス輸送量が 4920 億立方メートルに達したと発表した。同プロジェクトは、160 都市の 3000 社と 4 億人に天然ガスを供給してきた。新疆と上海を結ぶパイプラインは全長 3900 キ

⁴ 「国内首个平价风电示范项目正式投入运行」
(<http://www.cnncc.com.cn/cnnc/300555/300558/535868/index.html>)

ロに達し、年間の天然ガス輸送量は設計値で 120 億立法メートル。⁵

【中国】【天然ガス】天然ガス消費の 2 桁増を予測

2019 年の中国の天然ガス消費量は 3100 億立法メートルに達し、対前年比では約 10% の増加を示すと予測されているが、天然ガス消費の伸びは 2050 年まで続くと見られている。国家能源局等がまとめた「中国天然ガス発展報告 (2019)」が予測している。9 月 3 日付『中国能源網』が報じた。⁶

2018 年の中国の天然ガス消費量は前年に比べて 17.5% 多い 2803 億立法メートルまで増えた。1 日あたりのピーク使用量も 10 億立法メートルを突破し、天然ガスの消費量が 100 億立法メートルを超えた省も 10 に拡大した。

⁵ 「西气东输带动全国天然气消费比例提高近 2%」(<http://www.china5e.com/news/news-1068573-1.html>)

⁶ 「《报告》称 2050 年前我国天然气消费将保持增长」(<https://www.china5e.com/news/news-1069071-1.html>)